

活動状況報告書

1. 事業名称 楽しい健康体操Ⅲ事業
2. 実施主体
 - 団体名： 特定非営利活動法人 人材パワーアップセンター
 - 事業担当課： 保健福祉課
3. 事業を実施する上での役割分担
 - 団体の役割
 - ※ 高齢者運動指導員同マネージャー養成講座実施・講師の確保・テキスト作成
教室開催準備・開設と推進・各種ポスティングチラシ作製配布・連絡会議の開催
 - 担当課の役割
 - ※ 広報による募集（養成講座受講生・開設教室会員・体験会参加者）講師の派遣
養成講座会場の提供・開設教室の点検・情報提供及びアドバイス・負担金
4. 事業の内容 実施した事業内容について、事業毎に整理した上で記載してください。

I 高齢者運動指導員養成事業

日付	作業内容
～4月1日	養成講座依頼講師選考及び事前打ち合わせ・テキスト内容検討作成
4月1日～	広報4月1日号で指導員養成講座参加者募集（応募者24名）
4月12日～4月28日	運動指導員養成講座第1部実施 会場 中央保健福祉センター 講習6日 講師5名 中村・松本・福田・松山・本田 参加者延94名
5月10日～9月27日	運動指導員養成講座第2部実施 会場 中央保健福祉センター 講習18日間 講師 松本ゆう子 参加者延193名
6月22日～30日	先輩教室見学研修 1人3教室で体験学習実施
7月5日～9月6日	個人別プレゼンテーション実施
9月27日	「わくわくストレッチクラブ」キックオフ大会実施

II 「楽しい健康体操」教室普及事業

日付	作業内容
～4月1日	開設候補7会場の現地調査 7名で各2日実施
4月1日～5月30日	町会を訪問して説明と聞き取りを行う 6名で実施
6月1日～6月30日	開設5会場に絞り込み（内容検討すり合わせ）
7月5日～9月1日	チーム組み合わせ検討 5チーム決定
7月12日～8月23日	教室開設必要備品・用紙印刷準備
8月23日	各使用会場予約及びボランティア保険加入手続き実施
9月6日～15日	会場周辺ポスティングチラシ作製 5000枚配布実施（5名の応募）
9月15日	広報9月15日号で新会場生徒募集（23名の応募）
10月1日～31日	新設5会場全て10/8日までにオープン無料体験（51名となる）
10月1日～3月31日	全スタッフ対象 クラブ「推進会議」を月1回開催 会場 新松戸 インストラクタースキルアップ研修 10/22・1/28の2回実施
2月27日	「わくわくストレッチクラブ体験会」広報2月15日号で募集 会場中央保健福祉センター 70名の応募 定員45名参加

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した成果目標が、どの程度達成されたのかを記載してください。

高齢者運動指導員及びマネージャー養成目標 15名のところ 11名の養成に留まった。

教室設置目標は5教室目標に対しその全ての開設を実現した。

町内会等地域の会場を活用する点では、5会場中4会場を町内会館で実現した。

高齢者の健康づくりの場として「楽しい教室」を継続していくことへの理解が

多くの参加者に浸透した事がアンケート結果（別添紙）から読み取れる。

2月27日に実施した「わくわくストレッチクラブ体験会」には40名定員に対し

70名の応募があり「健康長寿に運動習慣が必要不可欠」健康への関心度が示された

(2) 取り組んだ課題の現状について

※解決できたこと、解決できなかったことを記載してください。

5教室の開設ができた。（五香公会堂・小金原3丁目会館・東部スポーツパーク
秋山団地自治会館・矢切公会堂）

指導員 各教室2名配置のところ11名の指導員養成が出来た。

参加者は運動教室参加で「仲間づくり」「生甲斐づくり」の手がかりを感じている。

応募者は年々減少傾向で、かつ応募後に個人や家庭の事情で研修途中の辞退者が多
くなっている。

3年間を通じ、高齢者の健康づくり教室楽しい健康体操指導員・マネージャー50名の
養成と「わくわくストレッチクラブ」15会場を下記により開設した。

22年度 養成17名 5会場 小金北・八柱・馬橋・馬橋東市民センター・常盤平体育館

23年度 養成22名 5会場 三日月会館・風早会館・泉ヶ丘会館・六実市民センター

24年度 養成11名 5会場 五香公会堂・小金原3丁目会館・東部スポーツパーク

秋山団地自治会館・矢切公会堂

の15会場で現在185名が登録し、楽しく運動を継続している。

年間推計延参加者数は 8,880人となる。（185人×月4回×12カ月）

6. 今後の事業展開

※解決できなかった課題にどう対応し、この事業を今後どのように展開してゆきたい
のかを記載してください。

今年で協働事業3年を終了するが、高齢者運動教室の普及・運動指導員の養成はこれ
からも必要不可欠のテーマである。

今後独自で開発するには相当な時間を要し効率も極端に落ちると思われるが 私たち
引き続きこの課題に挑戦していくつもりである。

行政と再び協働して活動することが可能となれば、さらに大きな力が発揮できると考
えている。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	労力換算額 (a)	592,000	845,000	253,000	※別紙

【事業費収入額（収入）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	団体拠出金	0	9,863	9,863	事業費の一部を拠出
	寄付金	0	0	0	
	運動教室参加料	420,000	477,555	57,555	
	自己資金の合計額 (b)	420,000	487,418	67,418	
市	松戸市負担金 (c)	500,000	500,000	0	←精算額
	合計額 (d) = (b + c)	920,000	987,418	-67,418	

【事業費の支出額（支出）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
負担金の交付対象経費	(1)運動指導員養成講座講師謝礼	125,000	150,000	-25,000	
	(2)マネージャー研修講師謝礼	10,000	0	10,000	
	(3)講座テキスト原稿料	40,000	50,000	-10,000	
	(4)講座テキスト印刷製本費	21,000	10,233	10,767	
	・ポスティング印刷	0	2,480	-2,480	
	(5)実技講師謝礼	60,000	65,000	-5,000	
	(6)レベルアップ研修講座	45,000	50,934	-5,934	
	(7)運動教室講師謝礼	240,000	276,000	-36,000	
	(8)教室会場使用料	144,000	111,626	32,374	
	(9)教室使用備品	50,000	57,239	-7,239	
	(10)体力測定器具	30,000	0	30,000	
	(11)ボランティア行事保険料	81,200	92,960	-11,760	
(12)通信費・備品・事務用消耗品	48,800	54,766	-5,966		
	対象経費の合計 (e)	895,000	921,238	-26,238	
その他対象外経費	ポスティング交通費補助	10,000	6,000	4,000	
	会場調査交通費一部補助	15,000	9,000	6,000	
	体験会交通費補助	0	3,460	-3,460	
	体力測定器具その他	0	47,720	-47,720	
	その他経費の合計額 (f)	25,000	66,180	-41,180	
	合計額 (g) = (e + f)	920,000	987,418	-67,418	

【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄が90%以内であること。
- 2 自己資金(b)欄に労力換算額(a)欄を加えた額が限度額であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額 ￥ 0

団体名 特定非営利活動法人
人材パワーアップセンター
代表者氏名 理事長 岩橋 秀高



収支内訳書

【事業費の収入額】

区分	科 目	金 額	内 訳	摘 要
団 体	団体拠出金	9,863		事業費の一部を拠出
	寄付金	0		
	運動教室参加料	477,555		参加者からの参加料
	自己資金の合計額	487,418		
市	松戸市負担金	500,000		
	合 計 額	987,418		

【事業費の支出額】

	科 目	金 額	支出内訳	説明事項(用途など)
負 担 金 の 交 付 対 象 経 費	(1)運動指導員養成講座講師謝礼	150,000	指導講師謝礼	中村容一先生ほか
	(2)マネージャー研修講師謝礼	0		
	(3)講座テキスト原稿料	50,000	テキスト原稿	上記講師のテキスト
	(4)講座テキスト印刷製本費	10,233	テキスト作成	製本テープなど
	・ポスティング印刷	2,480		参加者募集用チラシ
	(5)実技講師謝礼	65,000	指導員養成	ストレッチ実技指導
	(6)レベルアップ研修講座	50,934	研修講座	JSCAなど
	(7)運動教室講師謝礼	276,000		各教室指導員
	(8)教室会場使用料	111,626	新規会場	町内会館など
	(9)教室使用備品	57,239	CD, 血圧計	各教室で使用するCDなど
	(10)体力測定器具	0		
	(11)ボランティア行事保険料	92,960		(社福) 全国社会福祉協議会
(12)通信費・備品・事務用消耗品	54,766	運動用のボール、ストップウォッチ、各教室で 参加者用に使用する用具やファイル、名札 資料のコピーなど		
			* (7)の内訳: 1回2000円×5教室×23回に、先行 五香教室の4月～9月23回46000円を加算	
	対象経費の合計額	921,238		
そ の 他 経 費	ポスティング交通費補助	6,000		スタッフ活動の一部補助
	会場調査交通費一部補助	9,000		スタッフ活動交通費の一部補助
	体験会交通費補助	3,460		楽しい健康体操体験会
	体力測定器具その他	47,720		長座前屈測定器、握力計など
	その他経費の合計	66,180		
	合 計 額	987,418		

活動状況報告書

1. 事業名称 世代間交流の場・トキ塾 事業

2. 実施主体

■ 団体名: 常盤平地域活性隊

■ 事業担当課: 常盤平支所

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

○ テーマの企画・実施・結果整理、講師の選定

○ 各種広報活動と参加者募集

○ 事業やアンケート調査などを通じて得た、住民の要望や志向の把握とフィードバック

■ 担当課の役割

○ 広報活動への協力

○ 会場支援

○ 町内会・自治会などとの交流活動の支援

4. 事業の内容

トキ塾の開催

回数	テーマ&講師名	開催日 & 開催場所	参加人数
第1回	春の工作教室 【講師】梨子本雅秋(常盤平中央商店街会)	【日時】5月27日(日曜日)13:00~17:00 【場所】常盤平中央商店街広場	14 人
第2回	親子で楽しむ身近な植物観察会 【講師】流尾 哲也(緑花文化士)	【日時】6月9日(土曜日)13:30~15:30 【場所】常盤平周辺	14 人
第3回	おもしろサイエンス教室パート4 災害の科学 ~津波の謎にせまる~ 【講師】新井秀樹(たのたのじゅく)	【日時】8月26日(日曜日) 14:00~16:00 【場所】常盤平市民センター コミュニティー室	8 人
第4回	常盤平で新聞をつくろう!! 【講師】宮下忠久 常盤平団地自治会	【日時】9月23日(日曜日)10:00~12:00 【場所】常盤平市民センター コミュニティー室	9 人
第5回	今どきの子育て論 【講師】中山睦子(常盤平中央商店街会)	【日時】10月27日(土曜日)10:00~12:00 【場所】常盤平市民センター コミュニティー室	11 人

第6回	男の料理教室 【講師】工藤 誠 調理師	【日時】11月10日(土曜日)10:00~12:00 【場所】常盤平市民センター コミュニティ室	14 人
第7回	おもしろサイエンス教室パート5 クリスマスをみんなで飾ろう 【講師】新井秀樹(たのたのじゅく)	【日時】12月8日(土曜日)10:00~12:00 【場所】常盤平市民センター ホール	18 人
第8回	「音楽を楽しむつどい」 【講師】竹内恵里 ピアニスト	【日時】1月20日(日曜日)14:00~16:00 【場所】常盤平市民センター ホール	81 人
第9回	LPレコードを聞こう 【講師】工藤 誠 ジャズドラマー	【日時】2月9日(土曜日)14:00~16:00 【場所】常盤平市民センター ホール	55 人
第10回	「音楽を楽しむつどい」 【講師】竹内恵里 ピアニスト	【日時】3月10日(日曜日)14:00~16:00 【場所】常盤平市民センター ホール	77 人

トキ塾参加者 年代別 参加人数とパーセンテージ 参加総数301名

- | | | | | | |
|------------|------|-----|------------|-----|-----|
| 1. 0才~12才 | 38名 | 13% | 2. 13才~22才 | 3名 | 1% |
| 3. 23才~40才 | 36名 | 12% | 4. 41才~60才 | 60名 | 20% |
| 5. 60才以上 | 164名 | 54% | | | |

別添集計資料有り

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

世代間交流の場・トキ塾を3年間開催してきて、常盤平団地自治会と連携して、音楽の講座を開催し、50名を超える参加者を記録するなど大きな成果を上げ、常盤平団地等地域活性化検討協議会や常盤平アートラインプロジェクト2012の活動につながるなど、地域の活性化につながる活動へと発展するなど、幾つもの目的を達成できた。

(2) 取り組んだ課題の現状について

常盤平地域の課題である、高齢化・独居の方の増加や、若い方や子育て世代の減少などに対して、地域との連携などにはかなりの成果を上げたが、もう一方の課題である「多世代交流」を通じての若い層との連携などには課題を残した。

6. 今後の事業展開

トキ塾を通して町会自治会との共催や、商店会との連携、市民や若い人たちにも興味を持っていただけるような活動を目指し、具体的には常盤平団地等地域活性化検討協議会などの活動や常盤平アートラインプロジェクト2012などでさらに深い連携を図り、まちの魅力を醸成して、若い方や子育て世代にも魅力のあるまちになるように活動を発展させたい。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	労力換算額 (a)	¥210,000	¥212,000	¥ 2,000	※別紙

【事業費収入額（収入）】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	講座参加料	¥ 30,000	¥ 5,200	¥ ▲24,800	講座参加者より
	寄附金	¥ 5,000	¥ 30,800	¥ 25,800	常盤平地域活性隊有志より
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (b)	¥ 35,000	¥ 36,000	¥ 1,000	
市	松戸市負担金 (c)	¥145,000	¥145,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (d) = (b+c)	¥180,000	¥181,000	¥ ▲1,000	

【事業費の支出額（支出）】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の交付対象経費	1. 講座講師謝礼10回	¥100,000	¥105,200	¥ ▲5,200	講師謝礼
	2. 講座資料作成	¥ 3,000	¥ 3,200	¥ ▲200	講座資料印刷
	3. 広報用チラシ作製	¥ 50,000	¥ 60,000	¥ ▲10,000	チラシ用紙・印刷・配布
	4. ポスター作製費(大)	¥ 9,600	¥ 10,200	¥ ▲600	A2 カラーポスター
	5. ポスター作製費(中)	¥ 2,400	¥ 2,400	¥ 0	A3ノビポスター
				¥ 0	
				¥ 0	
		対象経費の合計 (e)	¥165,000	¥181,000	¥ ▲16,000
（その他） 対象外経費	スタッフ通信・交通費	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	会員の交通費
	会議費	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	会場費
	その他経費の合計額 (f)	¥ 15,000	¥ 0	¥ 15,000	
	合計額 (g) = (e+f)	¥180,000	¥181,000	¥ ▲1,000	

【負担金額 (C) チェック項目】

- 1 対象となる経費 (e) 欄が90%以内であること。
- 2 自己資金 (b) 欄に労力換算額 (a) 欄を加えた額が限度額であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額 ¥ 0

団体名 常盤平地域活性隊

代表者氏名 隊長 榎本 孝芳

収支内訳書

【事業費の収入額】

区分	科目	金額	内訳	摘要
団体	講座参加料	¥ 5,200	200円×26人	第3回参加者8名 第7回参加者18名
	寄附金	¥ 30,800	6000円×4人 6800円×1人	会員有志5名より寄附金
	自己資金の合計額	¥ 36,000		
市	松戸市負担金	¥ 145,000		
合計額		¥ 181,000		

【事業費の支出額】

	科目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)
負担金の 交付対象経費	講演会謝礼金	¥ 105,200	講師謝礼1回1万円× 10人+材料費	講師謝礼 1回 1万円 第3回参加者8名より 材料費200円×8名 第7回参加者18名より 材料費200円×16名
	講座資料作成	¥ 3,200	添付資料B参照	A4 サイズ 白黒印刷640枚×5円=3200円
	広報用チラシ作製	¥ 60,000	添付資料B参照	A4 サイズ 白黒印刷 12000枚×5円=60000円
	ポスター作製費 (大)	¥ 10,200	添付資料B参照	A2サイズ カラー印刷 12枚×1020円=10200 円
	ポスター作製費 (中)	¥ 2,400	添付資料B参照	A3ノビサイズ カラー印刷 12枚×240円=2400円
	対象経費の合計	¥ 181,000		
その他経費	スタッフ通信 ・交通費	¥ 0		交通費
	会議費	¥ 0		会場費
	その他経費の合計	¥ 0		
合計額		¥ 181,000		

活動状況報告書

1. 事業名称 パパ手帳を使った男性への育児支援事業

2. 実施主体
 - 団体名： 特定非営利活動法人子育て支援ぽこら
 - 事業担当課： 女性センター

3. 事業を実施する上での役割分担
 - 団体の役割
手帳の編集・作成 イクメン講座の実施、手帳配布・広報のための活動
 - 担当課の役割
手帳内容の助言 各行政機関との連絡及び調整 講座の内容の助言 その他活動に必要な助言

4. 事業の内容
 - ・ ※ 実施した事業内容について、事業毎に整理した上で記載してください。
 - 手帳と通信の作成
 - 4月から翌3月12回・・・月1回のボランティアとの手帳編集・通信作成などの会議
 - 4月から翌3月12回・・・月1回スタッフ会議
 - 年4回・・・通信印刷作業

 - 広報
 - 5月11日・・・柏ステーションモール ママこん で、母親や子育て支援に関心のある人たちに活動を紹介し手帳を配布
 - 5月31日・・・高校生と赤ちゃんのふれあい体験打ち合わせで向陽高校に手帳の説明と配布
 - 8月2日・・・読売新聞千葉版に手帳とイクメン講座が掲載
 - 11月下旬以降・・・市内おやこDE広場、ゆうまつどフェスタ、中央保健センター 小金保健センターなどで配布と広報
 - 2月24日・・・子育てフェスティバル
 - 3月9日・・・NPO見本市

 - イクメン講座
 - スタッフ打ち合わせ4月・7月・9月・10月
 - 9月・・・チラシ作成
 - 10月14日・・・イクメン講座パパ撮って！デジカメ講座
 - 10月28日・・・イクメン講座パパと子どもたちの絵本コミュニケーション
 - 11月9日・・・イクメン講座写真展準備
 - 11月10日・・・イクメン講座写真展

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した成果目標が、どの程度達成されたのかを記載してください。

イクメン講座デジカメの受講者に写真を提供してもらい、ひとつずつコメントをつけてもらいゆうまつどフェスタで写真展をおこなった。

手帳の増刷（2千部）と広報・配布をおこなった。

通信を年4回作成し、子育て支援の場で配布した。

保健センターのママパパ学級で広報配布をおこなった。市内2ヶ所

向陽高校の授業の中で手帳を高校生にみてもらい、感想のアンケートを高校側がしてくれた。

これから父親・母親になる生徒たちが興味を持ってくれた。

(2) 取り組んだ課題の現状について

※解決できたこと、解決できなかったことを記載してください。

パパ手帳をツールとして情報発信による意識啓発や講座への参加はある程度できた。父親同士がかかわりあうことは、まだ受身であることが多くみられ、今後の課題となる。

6. 今後の事業展開

※解決できなかった課題にどう対応し、この事業を今後どのように展開してゆきたいのかを記載してください。

手帳の作成・広報は、定期的に続けていく。

父親同士がつながっていくために、祖父の世代を巻き込むことを考える。

例えば、講座の講師役をお願いする、父親のグループワークの中にはいってもらなど。

また、家族として取り組めるようなイベントをおこない、父親が様々な場面で子どもや周囲の人と関わる機会をもうける。

乳幼児の父親に限定せず、幅広い年齢層のひとたちを子育ての場に興味を持ってもらう。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	労力換算額 (a)	¥186,000	¥187,000	¥ 1,000	※別紙

【事業費収入額（収入）】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	法人会費	¥ 41,000	¥ 41,000	¥ 0	会員会費
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (b)	¥ 41,000	¥ 41,000	¥ 0	
市	松戸市負担金 (c)	¥171,600	¥166,600	¥ 5,000	←精算額
合計額 (d) = (b + c)		¥212,600	¥207,600	¥ 5,000	

【事業費の支出額（支出）】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の 交付対象経費	講座講師料	¥ 10,000	¥ 5,000	¥ 5,000	外部講師謝礼
	手帳増刷代	¥144,000	¥143,850	¥ 150	パパ手帳印刷代
	パパ手帳通信・チラシ印刷代	¥ 10,000	¥ 13,315	¥ ▲3,315	紙代・インク代・印刷代
	消耗品費	¥ 30,000	¥ 26,992	¥ 3,008	文房具代
	対象経費の合計 (e)	¥194,000	¥189,157	¥ 4,843	
(その他 対象外) 経費	スタッフ飲食費用	¥ 2,000	¥ 1,929	¥ 71	講師、ボランティアお茶代
	スタッフ交通費	¥ 12,600	¥ 4,740	¥ 7,860	電車代
	ボランティア活動保険	¥ 4,000	¥ 2,240	¥ 1,760	パパ手帳会議
	雑費		¥ 9,534	¥ ▲9,534	広報活動用
	その他経費の合計額 (f)	¥ 18,600	¥ 18,443	¥ 157	
合計額 (g) = (e + f)		¥212,600	¥207,600	¥ 5,000	

【負担金額 (C) チェック項目】

- 1 対象となる経費 (e) 欄が90%以内であること。
- 2 自己資金 (b) 欄に労力換算額 (a) 欄を加えた額が限度額であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 5,000
-----	---------

団体名 NPO法人子育て支援ぽんぽ
 理事長
 代表者氏名 野村 由香



収支内訳書

【事業費の収入額】

区分	科目	金額	内訳	摘要
団体	法人会費	¥ 41,000	3,000円×12人 1,000円×5人	会員会費
	自己資金の合計額	¥ 41,000		
市	松戸市負担金	¥ 166,600		
合計額		¥ 207,600		

【事業費の支出額】

	科目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)
負担金の交付対象経費	1 講座講師料	¥ 5,000		イクメン講座「パパ友をつくろう」講師謝礼
	2 手帳増刷代	¥ 143,850		手帳2000部印刷代
	3 パパ手帳通信・チラシ印刷代	¥ 13,315	①7,505円＋ ②2,800円	①紙代②印刷代(パパ手帳通信・チラシ・アンケート)
			③1,810円＋ ④1,200円	③インク代(パパ手帳通信・チラシ・アンケート)④コピー代
	4 消耗品	¥ 26,992	①756円＋②4,116円	①文房具代(手帳修正用)②文房具代(アンケートボード)
			③9,553円＋ ④9,523円	③写真展装飾材料(カラーパネル・ラミネートフィルム)④絵本7冊(イクメン講座用)
			⑤3,044円	⑤文房具代(封筒)
	対象経費の合計	¥ 189,157		
その他経費	スタッフ飲食費	¥ 1,929	①650円＋②1,279円	①講師お茶代②ボランティアお茶代
	スタッフ交通費	¥ 4,740		電車代
	ボランティア活動保険	¥ 2,240	280円×8人	パパ手帳会議
	雑費	¥ 9,534		広報活動用
	その他経費の合計	¥ 18,443		
合計額		¥ 207,600		

活動状況報告書

1. 事業名称 ゲット・ユア・ドリーム事業

2. 実施主体
 - 団体名： 特定非営利活動法人子どもの環境を守る会Jワールド
 - 事業担当課： 子育て支援課

3. 事業を実施する上での役割分担
 - 団体の役割
 - ①ワークショップ等の企画・準備
 - ②協力校・講師との連絡・調整
 - ③チラシ等の広報文章の作成
 - ③参加者のフォローアップ
 - 担当課の役割
 - ①協働事業を進める上での当法人に対する指導
 - ②協力校・講師との連絡・調整
 - ③学校その他を含めた活動活動
 - ④会場の選択や提供
 - ⑤資金の提供

4. 事業の内容

※ 実施した事業内容について、事業毎に整理した上で記載してください。

I ワークショップ①（公募による）の実施

日付	作業内容
4月	事業計画打合せ・開場・日程決め
4・5月	チラシ・ポスター作成
5月～	講師依頼・調整・企画準備
5月28日～6月8日	学校訪問（中学10校・高校10校） その他チラシ・ポスター配布（中学10校・他団体2・企業10）
6月1日～16日	公募期間
6月23日	ワークショップ①開催
6月25日～7月6日	反省・アンケート集計・手紙作成等

II ワークショップ②（東部地区中心型）

日付	作業内容
5月～	向陽高校訪問・企画準備打合せ
8月～	講師依頼・調整・企画準備

8月17日～29日	チラシ作成
9月5日～14日	チラシ配布、学校訪問（東部地区6校）
9月15日～10月5日	公募期間
10月13日	ワークショップ②開催
10月15日～12月5日	反省・アンケート集計・手紙作成等

Ⅲ 活動報告作成・配布

日付	作業内容
11月10日～1月8日	活動報告パンフレット作成の打ち合わせ、資料作成・校正等
1月31日	学校訪問（東部地区5校）
2月～	参加者・講師・松戸市内中学・高校・団体等に配布

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

I. 松戸市在学・在住中高生対象に、様々な分野で活躍している地域の大人たちと対話・交流を持つワークショップを2回行った。

《内容》

- *話を聞きたい講師のところに分かれて、仕事紹介やどうしてその仕事を選んだのか、困難にぶつかったこと、やりがいを感じたこと等について話を聞く。
- *中高生でグループに分かれ、話を聞いて感じたこと、夢をつかむために必要なこと等意見交換を行う。
- *グループで出た意見・感想を模造紙にまとめて発表。
- *講師より応援メッセージ。
- *後日、参加者が自分の思いを書いたメッセージカードとともに、今後に繋げる趣旨としてフォローアップのため、Jワールドスタッフからの励ましメッセージ等を添えて郵送。ユーススペース（中高生の広場）にも6名参加するようになった。
- ・アンケートより、ワークショップ参加者が感動し、励まされている姿がある。将来について考える良いきっかけとなれた。身近に触れる職種には興味があるが、そうでない仕事には関心が薄い事がわかったので、今後、幅広い職種を紹介し、視野を広げてもらいたい。

II. ワークショップ①（公募型）

- ・6月23日女性センターにて開催
- ・市内中学10校、市内高校10校を子育て支援課とともに訪問・チラシ配布、事業説明を行った。

また、PTA連合加入中学校の保護者へチラシを配布する事ができた。教育委員会に相談。青少年課の協力にて子どもモニターへチラシ配布を行った。

・結果、申し込み30名（うち、チラシにて新規申込8名）、参加者22名（参加経験者6名、公募3名、子どもモニター11名、ユーススペース2名）、学校関係者見学1校、講師8名

・23年度参加した高校3年生2名が、本年度卒業し対象外になったが、スタッフとして参加し、ファシリテーター役を担った。

Ⅲ. ワークショップ②（東部地区中心型）

・向陽高校の協力を得ることができ、向陽高校の体育館を会場とした。また、向陽高校内のみではなく、向陽高校のネットワークを通じて、東部地区の中学校高校6校へ具体的な事業周知を行い、各学校で参加者の取りまとめを行ってもらうことができ、予想以上に発展した。

・結果、申し込み37名、参加者31名（参加経験者8名、東部地区の学校より申し込み参加者12名、公募2名、子どもモニター6名、ユーススペース3名）、学校関係者見学1校、講師10名が参加した。

・参加経験者に事前準備スタッフを募り、4名が参加した。グループリーダーとして役割を与え、グループを活気づけた。

その姿を見て、今後事前準備から参加したいとアンケートで答えた人が12名に増えた。

Ⅳ. 地域の大人たちから、本年度12名新たに講師として協力を得る事ができた。講師として参加してくださった方が、本事業を理解し、知り合いを紹介して下さるなど、更に地域のサポーターが広がる可能性が出てきた。

Ⅴ. チラシ・活動報告パンフレット等を訪問し配布を行った結果、東部地区の学校訪問では、学校側から声をかけても参加できない生徒がいる事、部活動をしている子も参加して欲しい事などのご意見もいただく事ができ、支援の協力体制の1歩を踏む事ができた。今後も支援についてともに考え、地域のニーズを応えた事業展開を行いたい。民間団体との交流は、2団体にチラシを置かせてもらうなど協力を得た。

Ⅵ. 協働事業を通して中高生の実態をより具体的に把握する事ができ、松戸市の今後の次世代育成の施策を推進することができた。

（2）取り組んだ課題の現状について

①様々な職業や経歴の大人と対等に話ができる交流の場として、多数の講師を招いて自ら話を聞きたいと思う講師の所に行き、中高生の目線に合わせた小グループでの交流という形ができてきた。継続して行ってきた結果、内容・講師の協力体制・スタッフ体制などでできてきた。

②中高生が多様な価値観に触れる。自ら考え、発言する機会に取り組んできた。

多様な価値観に触れ、自らを考え、発言する機会として現在のワークショップは効果的であるが、グループワークの内容、ファシリテーターの役割など、内容を更に深めていく為に、今後スタッフ側の成長が必要である。

参加者数は増えてきたが、目標数値には至っていない。参加する中高生を増やしたい。

中高生が企画準備から参加する体制ができてきたので、継続できるようにしたい。

③行政・学校・民間団体・地域の大人とのつながりは深まった。

特に学校は継続した訪問によって、関心・協力を得られる学校が増えてきた。その中で旭町中学校が当団体の委託事業「おやこDE広場旭町」で家庭科の授業の「ふれあい体験」を行うに至った。

地域の大人の方に事業への協力を得る事はでき、他の事業への発展へとつながった。

講師としての有意義さを知った方が、新たに人を紹介してくれるなど、講師の幅が広がる可能性ができてきた。ワークショップ以外の交流が少しずつ始まり、講師との連携を今後深めていきたい。

6. 今後の事業展開

*企画から参加する中高生を増やす。中高生の意見を反映し、彼らが楽しくて参加したいワークショップを作り上げる。

*学校側や他団体等の意見もいただき、中高生世代の連携した支援を展開していく。

*東部地区の学校に協力いただいて成果を得たので、もう1地区展開し本事業を地域に定着したい。

*より多くの大人の方々の賛同を得て、幅広い交流ができる協力体制を広げていく。

*一過性のイベントではなく、事業が継続していく事によって、参加した中高生が卒業し、学生・社会人スタッフとなり、経験を積んで講師として参加するサイクルが生まれ、世代を越えて中高生をサポートする地域社会となる。このように松戸市の将来を担う若者を生み出していきたい。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	労力換算額 (a)	¥256,500	¥236,250	¥ ▲20,250	※別紙

【事業費収入額（収入）】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	団体拠出金	¥ 53,500	¥ 55,994	¥ 2,494	事業費の一部を拠出
	自己資金の合計額 (b)	¥ 53,500	¥ 55,994	¥ 2,494	
市	松戸市負担金 (c)	¥273,000	¥273,000	¥ 0	←精算額
合計額 (d) = (b + c)		¥326,500	¥328,994	¥ ▲2,494	

【事業費の支出額（支出）】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の 交付対象経費	広告宣伝費	¥106,210	¥116,805	¥ ▲10,595	チラシ・ポスター代
	公募ワークショップ費	¥ 55,590	¥ 42,190	¥ 13,400	
	高校ワークショップ費	¥ 77,000	¥ 64,198	¥ 12,802	
	活動報告作成	¥ 54,800	¥ 70,025	¥ ▲15,225	活動報告2000部
	通信費	¥ 10,400	¥ 11,059	¥ ▲659	案内・活動報告送付料
	対象経費の合計 (e)	¥304,000	¥304,277	¥ ▲277	
（その他 対象外）経費	スタッフ交通費	¥ 9,000	¥ 9,450	¥ ▲450	会員の交通費
	スタッフ飲食費	¥ 10,000	¥ 13,500	¥ ▲3,500	会員の食費
	その他雑費	¥ 3,500	¥ 1,767	¥ 1,733	
	その他経費の合計額 (f)	¥ 22,500	¥ 24,717	¥ ▲2,217	
合計額 (g) = (e + f)		¥326,500	¥328,994	¥ ▲2,494	

【負担金額 (C) チェック項目】

- 1 対象となる経費 (e) 欄が90%以内であること。
- 2 自己資金 (b) 欄に労力換算額 (a) 欄を加えた額が限度額であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
-----	-----

団体名 特定非営利活動法人
 子どもの環境を守る会Jワールド
 代表者氏名 理事長 三浦 輝彦

収支内訳書

【事業費の収入額】

区分	科目	金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 55,994		事業費の一部を拠出
	自己資金の合計額	¥ 55,994		
市	松戸市負担金	¥ 273,000		
	合計額	¥ 328,994		

【事業費の支出額】

	科目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）
負担金の交付対象経費	①宣伝広告費	¥ 116,805	チラシ25780部 ポスター50部	公募ワークショップ チラシ19480部ポスター50部 高校ワークショップ チラシ6300部
	②公募ワークショップ費	¥ 42,190	講師謝礼、消耗品費、行事保険	講師謝礼対象者7人分
	③高校ワークショップ費	¥ 64,198	講師謝礼、消耗品費、行事保険	
	④活動報告作成	¥ 70,025	パンフレット2000部	
	⑤通信費	¥ 11,059	案内、レスポンス、報告	チラシ送付28件、参加者へのレスポンス送付50件、活動報告パンフレット送付45件（計123件）
	対象経費の合計	¥ 304,277		
その他経費	スタッフ交通費	¥ 9,450		ワークショップ2回27人分、学校訪問 他打合せ
	スタッフ飲食費	¥ 13,500		昼食代500円×27人分（2回分）
	その他雑費	¥ 1,767		
	その他経費の合計	¥ 24,717		
	合計額	¥ 328,994		

活動状況報告書

1. 事業名称 「昔のあそびとわらべうたⅡ事業」

2. 実施主体

■ 団体名： 「昔のあそびと遊ぼう会」

■ 事業担当課： 六実支所

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

- ・「昔あそび、わらべうた、わらべうたあそび」の技術の提供。
- ・同上の指導要員の提供。
- ・同上のイベント実施する際の企画・運営。

■ 担当課の役割

- ・支所で管理している公益の場所の提供・調整。
- ・広報等の掲載。
- ・支所管内のイベント情報の提供。

4. 事業の内容

①. 桜祭り参画

日付	作業内容
4月1日	桜祭り企画打合せ (3名、2時間)
4月2日	桜祭り運営打合せ (2名、2時間)
4月4日	桜祭り準備作業 (2名、2時間)
4月5日	桜祭りふれあい広場調整 (1名、3時間)
4月6日	桜祭り設営 (1名、3時間)
4月7日	桜祭り本番 (1名:12時間、3名:10.5時間、9名:9時間) 参加150名
4月8日	桜祭り本番 (1名:12時間、10名:9時間) 参加150名
4月9日	桜祭り後かたづけ (1名:2時間)

②. 5月5日定例会 (一般参加有) の実施

日付	作業内容
5月5日	定例会 (会員13名:一般参加:9名) 六実市民センター別館第1コミュニティー 開催時間: 13:30~16:00 内容: けん玉・カプラ・お手玉・竹返し・輪投げ・あやとり

③. 6月2日けん玉・カブラ講習会の実施

日付	作業内容
4月2日	「まつぼっくり」責任者との昔あそび内容打合せ
6月2日	「知的障害者施設」まつぼっくりにて昔あそび 場所：まつぼっくり 開催時間：13:00～15:00 参加者：会員14名、参加者：44名 内容：けん玉、カブラ、こま、昔あそび指導

④. こま・まりつき・お手玉講習会開催

日付	作業内容
6月6日	チラシデザイン作成
6月22日	チラシ印刷
6月23日	チラシ配布
7月7日	こま・まりつき・お手玉講習会開催 場所：六実市民センターホール 開催時間：13:30～16:00 参加者：会員15名、参加者：42名 内容：こま、まりつき、お手玉指導

⑤. お手玉・カブラ・めんこ講習会開催

日付	作業内容
7月13日	お手玉・カブラ・めんこ講習会のチラシデザイン
7月14日	印刷手配
7月15日	チラシ配布（支所、小学校、町会掲示板掲示）
8月4日	開催時間：11:30～15:30 場所：六実市民センターホール 参加者：会員15名、参加者：46名 内容：お手玉・カブラ・めんこ指導

⑥. 9月1日定例会（一般参加有）の実施

日付	作業内容
9月1日	定例会（会員15名：一般参加：9名） 六実市民センター別館第1コミュニティー 開催時間：13:30～16:00 内容：けん玉・カブラ・お手玉・竹返し・輪投げ・あやとり

⑦10月6日定例会（一般参加有）の実施

日付	作業内容
10月6日	定例会（会員15名：一般参加：8名） 六実市民センター別館第1コミュニティー 開催時間：13:30～16:00 内容：けん玉・カプラ・お手玉・竹返し・輪投げ・あやとり

⑧六実っ子まつり

日付	作業内容
4月21日	井戸端会議役員会 場所：六実中学校、時間14:00～16:00 参加1名
5月26日	井戸端会議総会 場所：六実中学校、時間9:00～11:00 参加2名
6月9日	井戸端会議 場所：六実中学校、時間11:00～12:00 参加1名
7月8日	井戸端会議 場所：六実中学校、時間10:00～11:00 参加1名
7月29日	合同パトロール打合せ 場所：六実市民センター、時間17:00～19:00 参加1名
7月29日	同パトロール打合せ 場所：六実市民センター、時間19:00～20:00 参加2名
8月25日	井戸端会議役員会 場所：六実市民センター、時間14:00～16:00 参加4名
9月15日	六実っ子まつり実行委員会 場所：六実中学校、時間14:00～15:00 参加1名
10月6日	六実っ子まつり実行委員会 場所：六実中学校、時間11:00～12:00 参加1名
10月13日	六実っ子まつり実行委員会 場所：六実中学校、時間13:00～15:00 参加1名
10月27日	六実っ子祭り前日準備 場所：六実市民センター、時間13:00～15:00 参加1名
10月28日	六実っ子祭り 場所：六実市民センター別館3階 時間：9:00～15:00 参加者：会員10名、参加者300名 内容：こま、けん玉、ヨーヨー、輪投げ、お手玉、あやとり

⑨. こま・はねつき・めんこ講習会開催

日付	作業内容
11月18日	12月1日こま・はねつき・めんこ講習会チラシデザイン
11月19日	印刷手配
11月20日	チラシ配布（支所、小学校、町会掲示板）
12月1日	こま・はねつき・めんこ講習会 場所：六実市民センター別館3階 時間：9:00～15:00 参加者：会員14名、参加者40名 内容：こま・はねつき・めんこ指導

⑩. 昔あそび正月あそび大会開催

日付	作業内容
12月6日	正月あそび大会チラシデザイン
12月7日	印刷手配
12月10日	チラシ配布（小学校、支所、町会掲示板）
平成25年1月5日	昔あそび正月あそび大会 場所：六実市民センター 時間：13:30～16:00 参加者：会員10名、参加者45名 内容：正月あそび、こま、はねつき、めんこ指導

⑪. 2月2日定例会（一般参加）

日付	作業内容
平成25年2月2日	2月2日定例会開催 場所：六実市民センター別館3階第1コミュニティー 開催時間：13:30～16:00 参加人員： 会員12名、一般参加15名 内容：こま、けん玉、あやとり、めんこ、はねつき、こま

⑫. 3月2日定例会（一般参加）

日付	作業内容
平成25年3月2日	3月2日定例会開催 場所：六実市民センター別館第1コミュニティー 開催時間： 13:30～16:00 参加人員： 会員17名、一般参加8名 内容： けん玉・カプラ・お手玉・竹返し・輪投げ・あやとり こま

⑩. サテライト見本市六実開催

日付	作業内容
H25年1月9日	サテライト見本市六実の参加要請文書配布（近隣）
平成25年1月29日	サテライト見本市六実の参加要請文書配布（他の地域）
平成25年2月13日	第1回打合せ 六実市民センター 3名、3時間、計6時間
平成25年3月4日	チラシ印刷、製本
平成25年3月4日	チラシ配布
平成25年3月22日	準備作業 セッティング、ポスター掲示、椅子・机・掲示板移動 14:30～20:00 4名
平成25年3月23日	サテライト見本市六実本番 場所：六実市民センターホール 開催時間：9:00～17:00（準備、後片づけ含む） 参加人員：250名、会員12名 内容：開催企画・実行運営・後片づけ

事業成果について

(1) 事業目的の達成について

- ・今年ほぼ計画どおりの事業をおこなうことができた。
- ・地域の他の団体と連携がうまくいくようになり、六実地区井戸端会議との六実っ子祭りや、連合町会や社会福祉協議会と連携した六実桜祭り等において、多くの人たち（述べ合計600人（計画200人以上））が参加してくれた。各イベントで親子で一緒にけん玉、お手玉、こま回し等を楽しんでいたのが、世代間の共通のコミュニケーションづくりに寄与できているのではないかと思います。
- ・H24年度の事業の一つとして、障害者施設での昔あそびの開催ができ、知的障害のある方も昔あそびを楽しんでくれて大好評でした。（平成24年6月2日）
- ・講習会についての集客が計画（各50名）より少なかったのはまだ力不足、PR不足を感じています。

7月7日	こま・まりつき・お手玉講習会	42名
8月4日	お手玉・カブラ・めんこ講習会	46名
12月1日	こま・はねつき・めんこ講習会	40名
1月5日	正月あそび大会	45名

(2) 取り組んだ課題の現状について

- ・各世代の人が一緒に集い同じあそびで遊べる環境が整いつつあります。小学校3校すべて授業に昔あそびを取り入れられ、会員と子供達との間で、昔あそびの先生とこえを掛けてくれるようになり、又講習会に参加した大人及び子供の述べ人数が173人、六実桜まつりや六実っ子祭りで、あそびに参加してくれた人600

人超となり多くの人が遊べるようになってきました。

又近隣地域とのふれあい、献灯祭りや、流山まなびふれあい祭りにも参画し祭りを盛り上げることが出来たとおもいます。

6. 今後の事業展開

- ・これから継続的に活動していくためには、会員の補充、スキルアップを更に進めていかなければならない。

又地域の他団体との連携した活動を進めていきたい。

特に子育て支援グループとの連携、高齢者支援団体との連携を進めて子供の育成や高齢者の健康増進及び潤いのある生活に少しでも寄与したいと思えます。

2年続けてキャラバン見本市、サテライト見本市を六実で開催でき、今後もこの事業を途絶えないように進めていきたいと思えます。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	労力換算額 (a)	¥525,000	¥459,750	¥ ▲65,250	※別紙

【事業費収入額（収入）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	会費	¥ 72,000	¥ 57,000	¥ ▲15,000	事業費の一部を拠出
	寄附金	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ 0	個人1名
	参加費	¥ 30,000	¥ 7,920	¥ ▲22,080	遊び参加代 (かんからこま、さかさこま)
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (b)	¥122,000	¥ 84,920	¥ ▲37,080	
市	松戸市負担金 (c)	¥213,000	¥180,331	¥ 32,669	←精算額
	合計額 (d) = (b+c)	¥335,000	¥265,251	¥ 69,749	

【事業費の支出額（支出）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 75,000	¥ 45,000	¥ 30,000	外部講師謝礼
	印刷製本費	¥100,000	¥ 70,150	¥ 29,850	チラシ印刷
	材料費	¥120,000	¥122,751	¥ ▲2,751	あそび道具
	使用料	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	賃借料	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	通信費	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	保険料	¥ 20,000	¥ 4,200	¥ 15,800	行事保険料
		対象経費の合計 (e)	¥315,000	¥242,101	¥ 72,899
（その他対象外）経費	飲食費	¥ 10,000	¥ 6,010	¥ 3,990	会員の昼食代
	交通費	¥ 10,000	¥ 17,020	¥ ▲7,020	会員の交通費
	振込手数料		¥ 120	¥ ▲120	カブラ代金振込手数料
	その他経費の合計額 (f)	¥ 20,000	¥ 23,150	¥ ▲3,150	
	合計額 (g) = (e+f)	¥335,000	¥265,251	¥ 69,749	

【負担金額 (C) チェック項目】

- 1 対象となる経費 (e) 欄が90%以内であること。
- 2 自己資金 (b) 欄に労力換算額 (a) 欄を加えた額が限度額であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 32,669
-----	----------

団体名 : 昔のあそびと遊ぼう会

代表者氏名 会長 白石 彌登美

収支内訳書

【事業費の収入額】

区分	科目	金額	内訳	摘要
団体	会費	¥ 57,000		会費190ヶ月分 300円/月*190ヶ月=57,000円
	寄附金	¥ 20,000	1人*20,000円	
	参加費	¥ 7,920		48名*90円=4,320円 30名*120円=3,600円
	自己資金の合計額	¥ 84,920		
市	松戸市負担金	¥ 180,331		
合計額		¥ 265,251		

【事業費の支出額】

科目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 45,000	15,000円*3回	講師謝礼 講師 鎌ヶ谷けん玉協会 15,000円*3回
	印刷製本費	¥ 70,150	7月7日分 3,150円 8月4日分 20,000円 12月1日分 25,000円 1月5日分 22,000円	チラシ印刷 (櫻祭り、盆踊りはチラシ作成せず) (障害者での講習会はパソコン出力)
	材料費	¥ 122,751	(消費税込) 17,955円	カブラ 2個
			15,330円	竹返し 30個
			56,309円 22,604円	(領収書56,309円+22,604円の内訳)
			7,088円 2,940円 525円	こま 100個 お手玉 200個 カルタ 2個 メンコ(丸) 150個 メンコ(角) 96個 輪投げ 5個 羽子板 5個 羽根 10個 綾取り紐 44個 (領収書7,088円+2,940円+525円の内訳) 全てお手玉用材料(布,ペレット,鈴)
賃借料	¥ 0			
通信費	¥ 0			

	保険料	¥ 4,200		平成24年7月7日分：2,800円 (途中非加入理由) 通常の講習会では、事故ないと判断したが、もしもの場合に備えておくので次回より加入するようにします。 平成25年1月5日分：1,400円
	対象経費の合計	¥ 242,101		
その他経費	飲食費	¥ 6,010	1,000円 1,125円 1,000円 1,125円 1,760円	6月2日 10名 1000円 7月12日 11名 1125円 7月31日 10名 1000円 9月21日 11名 1125円 10月24日 16名 1760円
	交通費	¥ 17,020	2,040円 1,840円 3,360円 3,060円 2,040円 2,040円 2,640円	5月8日 元山-松戸往復 340円*6人 5月23日 元山-上野往復 920円*2人 6月3日 元山-南流山 480円*7人 7月14日 元山-松戸 340円*8人 8月9日 元山-松戸 340円*6人 8月10日 元山-松戸 340円*6名 平成25年1月28日 元山-馬橋 660円*4人
	振込手数料	¥ 120		竹返し料金
	その他経費の合計	¥ 23,150		
	合計額	¥ 265,251		

24年度活動状況報告書

1. 事業名称 家庭用廃食油の回収による地域活性化事業

2. 実施主体

■ 団体名： 松戸エコマネー「アウル」の会

■ 事業担当課： 環境計画課、商工観光課、

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

- ① 廃食用油回収拠点、アウル券利用協賛店の獲得
- ② PR資料等の作成、掲示、配布
- ③ スクールガード、駅前清掃等へのアウル券の配布
- ④ 新規スクールガード、美化、環境関連協力ボランティアへの参加働きかけ

■ 担当課の役割

※ 担当課が実施したことを記載してください。

- ① 環境計画課 「広報まつど」への活動紹介記事の掲載
- ② 商工観光課 商店街等への事業PRのバックアップ

4. 事業の内容

※ 実施した事業内容について、事業毎に整理した上で記載してください。

回収拠点、アウル券利用協賛店の獲得と巡回、回収用具類の配布。

日付	作業内容
6/13、7/3、11/21、12/16 1/16 2/24 3/8	五香地区回収拠点、協賛店訪問 はたや商店、松久、佐藤ベーカリー
8/28 9/5、9/14、9/28、 11/28、12/3、12/5、2/7	小金原地区（ノエビアオレンジハウス）立上げ訪問、ポステイング
9/26、9/27、10/10、11/2、 11/18、11/20、12/5、2/5 2/27 3/6	新松戸地区（ハナノイ、橋本宅）立上げ訪問、ポステイング
5/10、10/19、10/24	回収拠点 松川産業訪問
9/27、1/27、2/6 3/10	回収拠点 ヤマザキ家具訪問
5/16、7/7 9/25、10/11、 10/12 10/26	松戸新田地区協賛店（万世食品、元気もりもり、花創作高原、すえひろ、未広屋、丸亀、酒のアリタ）訪問
5/7、7/27、9/27、10/9 2/13、2/18、2/19、3/6、3/12	協賛店（薬膳カレー秋月、ポナペティート）訪問、
5/17	協賛店 八しま訪問
1/23、1/27、	常盤平西窪町（テクノハウス久我）立ち上げ
5/8、7/18、10/3、10/4	下矢切、紙敷、松戸地区回収拠点、協賛店訪問

1/20、1/24	(八矢庵、ミヤマ建設、丸協、峰月)
10/20、10/21	協賛店山本建設、メグミルク訪問

回収拠点、アウル券利用協賛店および町会等の PR 資料の作成

日付	作業内容
9/27、9/28、9/29、10/10、	新規回収拠点 PR 資料の作成 (ハナノイ、橋本、)
1/29 3/8	新規回収拠点 PR 資料の作成 (テクノプラザ久我)

広報活動・広報活動用資料作成

日付	作業内容
4/24、4/25/26、5/3、6/30 7/19、7/23、7/24、7/25、 7/26、7/29、7/31、8/1、 8/2 8/8、8/13、8/26、9/4 10/31、2/7	廃食用油回収による地域活性化事業 PR 用パンフ (1号) の 企画・編集・印刷
1/13、1/16、1/25 2/16	廃食用油回収による地域活性化事業 PR 用パンフ (2号) の企画・編集・印刷
9/10	広報用原稿作成
1/5	協賛店、回収拠点表示ステッカーのラミネート作業
5/1	23 年度報告パンフ印刷

町会、各戸への PR 資料配布とスクールガードへの接触

日付	作業内容
11/2、11/3	新回収拠点 ハナノイ周辺に PR 資料配布
11/20	新回収拠点 橋本宅周辺に PR 資料配布
11/28、12/3	新回収拠点 ノエビア周辺に PR 資料配布
5/6	23 年度報告パンフ配布

小金原健考館での廃食用油回収

日付	作業内容
4/13、4/27、5/11、5/25、 6/8、6/22、7/13、7/27、8/10 8/24、8/28、9/5、9/14、9/28	廃食用油の回収とアウル券の配布、活動の PR (第 2、第 4 金曜日 13.00~16.00 まで分担して回収)

PR・広報活動

日付	作業内容
10/28	馬橋地区社協主催「ふれあい広場」での広報活動
11/17	五香、松飛台地区社協主催「ふれあい広場」での広報活動

11/18	東部地区社協主催「ふれあい広場」での広報活動
11/25	常盤平地区社協主催「ふれあい広場」での広報活動

協働事業についての会議

日付	作業内容
4/22、5/6、5/27、6/24、7/22、 8/26 9/23、10/27、11/24、 12/22、1/27、2/24	毎月第4日曜日に定例開催。24年度協働事業の進め方について、問題点等を討議して、結論を実行する。

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した成果目標が、どの程度達成されたのかを記載してください。

① 目標 回収拠点の新規設立 5拠点 (12拠点から17拠点へ)

廃食用油回収 24年度目標 1回収拠点あたり500L

実績 新規回収拠点 4拠点 24年9月 2拠点閉鎖 24年1月末14拠点

アウル券利用新規協賛店 3拠点 24年1月 41拠点が活動中である。

廃食用油回収実績(25年2月末現在) 1226L

内訳 小金原健考館 251L、松久 157L、松川産業 13L、ミヤマ建設 68L

八矢庵 109L はたや商店 179L スエヒロ 4L、花創作高原 30L

山崎家具センター96L、丸協 62L、峰月 107L ノエビア 76L

ハナノイ 36L

アウル券の配布枚数は500ccで10アウル券1枚としている。

10アウル券配布実績(25年1月末現在) 1369枚

内訳 小金原健考館 540枚、はたや商店 145枚、松久 144枚

ノエビア 28枚 スエヒロ 38枚、花創作高原 35枚、丸協 50枚、

峰月 139枚 山崎家具センター170枚、ハナノイ 72枚 橋本宅 3枚

八矢庵 配布されているが枚数不明、ミヤマ建設 5枚

②目標 スクールガード等協力ボランティアの新規獲得(スクールガード 6地区)

実績 新規獲得は出来なかった。

スクールガード協力ボランティアは五香新町町会が24年1ヶ月に10日活動

(1日6名) 25年1月末 520枚配布した。

「メイク松戸ビューティフル」の駅前清掃24年度(4月～1月)配布枚数260枚

③ 「広報まつど」での紹介

24年6月15日号、10月15日号、25年3月15日号(予定)

(2) 取り組んだ課題の現状について

※解決できたこと、解決できなかったことを記載してください。

①回収拠点、アウル券利用協賛店の獲得について

回収拠点として14拠点が確保できたが、周辺市民へPRがまだ不十分で回収拠点が、十分に市民に周知できていない。しかし23年度から稼働している11拠点すべてで廃食用油の回収実績が大幅に増えており、今後の拡大に期待したい。

新規回収拠点として、小金原健考館の閉鎖に間髪をいれずノエビアオレンジハウスがまた、空白地域であった新松戸地区に新しく2拠点が確保でき、町会としての取組みの第1歩として常盤平西窪町にテクノハウス久我が25年2月から活動を開始することになった。

稔台一番街商店会には24年5月会長に説明を行ったが、まだ商店街としての意思統一が出来なかった。

ただ残念なことは、一部の市民協力者で家庭用廃食油を持参してもアウル券を受け取らない人があり、活動の趣旨をさらに浸透させる必要がある。

協賛店は41店舗になったが、そこでのアウル券の利用は6店舗に留まっている。その他のアウル協賛店では使用実績がまだなかった。

協賛店でのアウル券利用実績(25年1月末現在) 312枚

内訳:肉のたむら0、八しまうどん10枚、東龍40枚、松久139枚

峰月123枚 八矢庵 使用されているが枚数不明

回収拠点を兼ねた松久、峰月、八矢庵では廃食油持参時に商品を購入するパターンが確実に増加してきた。今後使いやすい協賛店の開拓が必要である。

②スクールガード、新規協力ボランティア団体の獲得

新規協力ボランティア団体の獲得は出来なかった。

まちづくり、環境美化等のボランティア団体への接触が出来なかった。

③回収拠点、アウル利用協賛店への報告

個人商店であり、うまく時間のアレンジができず、一同に会することができないので、それに代わる方法として、1年度に2回の協働事業報告パンフを発行して、協賛店と回収拠点に配布した。(24年8月、25年2月)

今後の事業展開

※解決できなかった課題にどう対応し、この事業を今後どのように展開してゆきたいのかを記載してください。

①廃食用油の回収量については目標を達成できなかった。しかし前述しているように23年度からの回収拠点では24年度は大幅に回収量が増加しており、その地域の市民に浸透してきている。とくに「広報まつど」の効果は絶大で、発行後に新規の市民の持ち込みが増えている。回収拠点の周辺町会等へのPR活動を強化する。

②回収拠点の網の目が粗い北小金、馬橋地区に回収拠点が獲得出来たので今後PRを強化していきたい。

③アウル券の利用の促進を図る。協賛店の密度を高め、使いやすい環境を整備する必要がある。そのためにも商店街ぐるみでこの事業に賛同してくれる商店街を商工観光課と協働で獲得していきたい。

④新規に協力ボランティアを獲得する。

スクールガード、環境関連ボランティアに活動の内容をPRして参加を要請する。

⑤広報活動の強化

広報まつどへの繰り返し掲載。 地域新聞、地域テレビでの報道依頼

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	労力換算額 (a)	¥600,000	¥187,500	¥ ▲412,500	※別紙

【事業費収入額（収入）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	アウル会費	¥ 80,000	¥ 0	¥ ▲80,000	40名 x 2000
	アウルの会事業費	¥ 65,000	¥ 57,280	¥ ▲7,720	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (b)	¥145,000	¥ 57,280	¥ ▲87,720	
市	松戸市負担金 (c)	¥500,000	¥235,583	¥ 264,417	←精算額
	合計額 (d) = (b+c)	¥645,000	¥292,863	¥ 352,137	

【事業費の支出額（支出）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考	
負担金の交付対象経費	①廃食油回収拠点用備品	¥ 75,000	¥159,801	¥ ▲84,801		
	②活動資料類の作成	¥510,000		¥ 407,878		
	2-1 印刷代		¥ 89,370			
	2-2 消耗品費その他		¥ 12,752			
	③調査交流費	¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000		
		対象経費の合計 (e)	¥605,000	¥261,923	¥ 343,077	
(その他経費)	交通費	¥ 40,000	¥ 30,940		会員の交通費	
	その他経費の合計額 (f)	¥ 40,000	¥ 30,940	¥ 9,060		
	合計額 (g) = (e+f)	¥645,000	¥292,863	¥ 352,137		

【負担金額 (G) チェック項目】

- 1 対象となる経費 (e) 欄が90%以内であること。
- 2 自己資金 (b) 欄に労力換算額 (a) 欄を加えた額が限度額であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額 ¥264,417

団体名 NPO法人松戸エコマネーアウルの会

代表者氏名 戸田栄造



収支内訳書

【事業費の収入額】

区分	科目	金額	内訳	摘要
団体	会費	¥ 0		
	アウルの会事業費	¥ 57,280		事業費の一部を拠出
	自己資金の合計額	¥ 57,280		
市	松戸市負担金	¥ 235,583		
合計額		¥ 292,863		

【事業費の支出額】

	科目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)
負担金の 交付対象経費	①廃食用油回収用備品・ノボリ等	¥ 159,801	のぼり70本、 ポール固定用ス タンド 5台	1-①～1-④
	2 活動資料類の作成			一般PR用、協働事業中間報告 回収拠点、協賛店一覧 個別回収 拠点の紹介資料の作成・印刷
	2-1 印刷代	¥ 89,370	PR資料の印 刷、コピー 代金	2-1-①～2-1-⑧
	2-2 消耗品費その他	¥ 12,752	インク代、用紙 代他	2-2-①～2-2-⑨
	3 調査交流費	¥ 0		
	対象経費の合計	¥ 261,923		
その他経費	交通費	¥ 30,940		
	その他経費の合計	¥ 30,940		
合計額		¥ 292,863		

